

1 今年度の iPad 活用目標と活用状況

活用目標について

本校は病弱特別支援学校なので、病状上の理由により隣接する小児病院内でベッド学習をしている児童生徒が在籍している。本来医療の場であるということからどうしても時間的にも物理的にも制約が生まれる。

タブレット端末を効果的に利用することによって、今までよりも容易にベッドの上を子どもにとっての学ぶべき場所「教室」に変えることができるのではないかと仮定し、今回はそれを目標とした。

活用状況

教科書を使った学習をしている 1 組ではベッド学級と重度重複障がいがある 3 組院内学級にて活用している。

1 組ベッド学級の状況

黒板の代わりとしてや、インターネットを使用しての調べ学習、理科の実験や模型による説明の代替（以前は模型を持ち込んでいた月の動き、人の身体の仕組みなど）、習字や版画またクラブ活動でオセロといった衛生面や、仰向けの状態で行にくい活動に活用している。

3 組院内学級の状況

今まで持ち込んでいたポーターピアノ、ラジカセ、ホワイトボード、ノートパソコンの役目をタブレット端末で代替して行っている。経管栄養や人工呼吸器のチューブやバイタルサインを計測するためのコードなどがあり、コンセントにささっている機器も生命維持に直結している機器が多いために、コードレスで使用できる点が安全面でとても有効である。また、仰向けの姿勢でも画面を見やすく（教師が保持しやすい）、手指の機能のためにマウスやキーボード、ノートパソコンのタッチパネル（反応が今ひとつ）では操作しにくい活動もストレスなく教師と一緒に楽しむ事ができている。



院内での授業風景



今まではワゴンで教材を運んでいました。



ベッド上でインターネットやアプリを使っでの調べ学習

2 現在活用しているアプリケーション

アプリ名	特徴
I♥Fireworks	花火ソフト ビデオとは違って、画面にタッチすることで花火を打ち上げられ、光や音、音が出る振動を味わうことができる。
Classical、Virtuoso、 aXylophone	ピアノやギター、シロフォンのソフト。病院内で楽器の演奏をするときは、音が大きすぎたり、楽器が大きすぎて持ち運びや演奏に支障が出たり、子供が触っても力が足りず音がでなかったりするのので 代替品として便利。
エデュプリシリーズ 「シャボン玉」 「いないいないばあ」	タッチが正確でなくても遊ぶことができる上に、ゲームの一部に写真を利用することができるので興味や関心を引きやすい。
3D 昆虫	虫を360度回転させて見ることができ、虫と触れることが難しい環境でも虫を実際に観察しているような体験ができる。
Talking Tom	声を変えることができるので、教員の声を可愛く変えて録音して、号令の声などとして利用する。
空想どうぶつ園	自由に作った動物に声を録音することができるので、違うクラスの子供へのメッセージのプレゼントに利用している。
版画、ZenBrush	病院内でバーチャル作品を安全に作ることができる。 本格的なものができるので図工の一環として利用することができる。